



## JR連合 青年・女性委員会

# 第27回定期総会開催！



## 仲間の環を広げ共に未来をきり拓こう

JR連合青年・女性委員会第27回定期総会が9月8日、福岡市内にて開催され、JR四国労組から幹事1名、総会委員3名、傍聴者3名が参加しました。

冒頭、平成30年7月豪雨や大阪北部地震、北海道地震により亡くなられた方々に黙祷で哀悼の意を捧げた後、総会議長に中内総会委員(JR四国労組)と竹下総会委員(JR九州労組)を選出し、スローガン『仲間の環を広げ 共に未来をきり拓こう』が提起されました。

そして、新倉議長(JR西労組)から、安全確立、民主化完遂、政策・政治課題の取り組みについて挨拶を受けました。また、来賓としてJR連合・松岡会長、開催地のJR九州労組・中原中央執行委員長が出席され、激励の挨拶を受けました。



質疑では、JR四国労組より谷井総会委員が「四国でのユースラリー開催について」「安全の確立に向けて」「四国新幹線の実現に向けて」など諸課題について発言しました。



谷井委員より発言



笹岡幹事・中村青女担当部長による答弁



# JR四国労組総会委員の発言内容（一部抜粋）

## 四国でのコースラリー開催について

今年の5月26日～28日にかけて、第23回コースラリーを7年ぶりに四国の地で開催した。新倉議長を筆頭に実行委員会で約半年議論を行い、当日は総勢115名が四国に集結した。普段会えない仲間とのつながりを作ることができ、参加者からも満足の声が多く、大成功を収めることができた。コースラリー開催に当たり、多大なご協力・ご支援を頂いた関係者の方々にこの場を借りてお礼を申し上げる。

## 安全の確立に向けて

JR四国労組は、「安全・安定・安心輸送の確保」が輸送業務の最重要課題であるとの認識に立ち、労働組合としてのチェック・提言機能を発揮しながら、「安全の確立」に向け日夜取り組んでいる。世代間を問わず職場で議論を重ね、労使で徹底した議論を行っており、今後もこの取り組みを継続させていく。JR四国労組青年女性会議は、基本組織と連携し、安全の取り組みを第一義に取り組んでいることを報告する。

## 四国新幹線の実現に向けて

四国に新幹線を求める声は日に日に強まっている。今年の6月に公表された報告書では、四国新幹線の波及効果や地域づくりの基本戦略が具体的に示された。また早期実現への新たな切り口として、単線新幹線などの導入が言及されており、他の新幹線未整備地域への導入や海外輸出競争への起爆剤にもなることも期待できる。四国新幹線の実現に向けた流れを推し進めるため、JR四国労組青年女性会議も積極的に取り組んでいくので、JR連合青年・女性委員会のご理解とご支援を頂きたい。

また、今総会において3名の役員が退任し、JR四国労組からは本部青年女性会議の笹岡議長が引き続き幹事に選出され、新たな役員体制を確立しました。その後、総会アピールが読み上げられ、採択された後、新倉新議長の発声で団結ガンパローを行いました。



## 役員選出

役職名	氏名	単組	備考
議長	新倉 実	JR西労組	再任
事務長	鈴木 大介	JR東海ユニオン	再任
幹事	三星 輝之	JR北労組	再任
	谷口 文音	JR東海ユニオン	新任
	大路 弘美	JR西労組	新任
	笹岡 慎平	JR四国労組	再任
	杉本 涼	JR九州労組	新任
	鈴木 教仁	貨物鉄産労	再任



しっかりと博多で  
交流してきたばい！